

令和5年度
(2023年度)

滋賀大学大学院データサイエンス研究科
(博士前期課程)

学 生 募 集 要 項

〔早 期 特 別 入 試〕

〔一 般 入 試〕

〔派 遣 社 会 人 入 試〕



SHIGA UNIVERSITY

滋 賀 大 学

〒522-8522

彦根市馬場一丁目1番1号

【 TOPICS 】

○滋賀大学大学院データサイエンス研究科奨学制度

「滋賀大学大学院データサイエンス研究科奨学制度」は、入学試験の成績が優秀な学生に、さらに学業に励んでもらうための、滋賀大学大学院データサイエンス研究科独自の給付型奨学制度です。

詳細は、同封の「滋賀大学大学院データサイエンス研究科奨学制度」をご参照下さい。

○長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等のために標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。事情に応じて標準の修業年限(2年)を超えて一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、2年間(標準の修業年限)分の授業料総額を、あらかじめ認められた一定の修業年限で除した額にして、それぞれの年に支払うことになります。

【 目 次 】

アドミッション・ポリシー, ディプロマ・ポリシー, カリキュラム・ポリシー.....	1 ～ 7 頁
授業担当教員一覧表	8 頁
令和5年度入試情報	9 頁
令和4年度入学者選抜状況資料	10 頁
早期特別入試学生募集要項	11 ～ 17 頁
一般入試学生募集要項	18 ～ 24 頁
派遣社会人入試学生募集要項	25 ～ 30 頁
共通事項	31 ～ 35 頁

滋賀大学大学院データサイエンス研究科 博士前期課程のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー

データサイエンス研究科が目指すのは、統計学と情報学を基盤とするデータサイエンスを発展させ、社会の様々な課題を解決する学術研究者および高度専門職業人の輩出です。この研究科の教育目的を理解し、データサイエンスの理論と実践を意欲的に学修し、データサイエンスの新たな領域を開拓し発展させる意欲をもった学生を求めています。

データサイエンス研究科における教育は本質的に学際的です。まず、データサイエンスの専門知識とスキルは理系的ですが、データサイエンスの対象である価値創造の場は理系的領域だけでなく、社会的・人文的な領域を多く含んでいます。そして、価値創造の鍵となるモデルの決定は、データサイエンスの力量と応用領域に関するしっかりとした知識の双方が必要となります。そのため、一定の基礎学力があれば、統計学や情報学を学んできた学生だけでなく、データサイエンスに広く関連する分野にバックグラウンドをもつ学生も受け入れます。また、企業においてデータサイエンスの理論と実践に関する専門知識とスキルを必要とする社会人も学生として受け入れます。

したがって、データサイエンス研究科の求める人材は次のとおりです。

- (ア) データサイエンスの基盤となる統計学および情報学の基礎的知識を持つ人
- (イ) 統計学および情報学が融合したデータサイエンスを学修し、価値創造へつなげる意欲を持つ人
- (ウ) 多様な応用領域の分野で価値創造に貢献する意欲と適応力を持つ人
- (エ) 多種多様な専門性をもつ人々と協働して価値創造するための基礎的なコミュニケーション力を持つ人
- (オ) データサイエンスの新たな領域を開拓し発展させる意欲をもつ人

このような人材を受け入れるために以下のような選抜方法を実施します。

1. 一般入試・早期特別入試・・・(ア)に関して、成績証明書と、統計学・情報学・英語に関する外部試験の成績を、選抜の資料として使用し、面接においても口頭試問で知識を確認します。(イ)から(オ)に関しては、研究計画書、および面接に基づき、それらの条件をみたしているかどうかをチェックします。
2. 派遣社会人入試・・・企業等事務所からの派遣証明のある者で(ア)から(オ)までのチェックを、成績証明書・志願理由書・研究計画書・実務経験書、および面接に基づいて行います。

ディプロマ・ポリシー

本研究科が育成するのは、「《方法論とデータをつなぐ》価値創造人材」です。それは、「直面する領域の知見をもとに適切な課題を見つけ、その解決につながるデータを選び、収集・取得し、加工・研磨などの前処理を行い、それを分析するためのモデルを決め、最適化計算を遂行し、計算結果を解釈して意思決定者にわかりやすく伝え、意思決定に反映してもらう」一連の過程を、自らのイニシアティブで遂行でき、業務改善や新商品・サービスの提供などの価値創造に貢献する一気通貫型の人材です。

この育成人材像が備えておくべき具体的な専門知識とスキルの到達目標として、次のディプロマ・ポリシーを定めています。

1. データエンジニアリングとデータアナリシスの高度な専門知識とスキルを修得した上で、モデリングの方法論を修得し、データサイエンスに関する高度な知識とスキルを備えている。
2. 課題の発見、データ収集・前処理、モデルの決定・最適化計算、結果の解釈、そして意思決定につなげる一連の過程を自らのイニシアティブで実施でき、価値創造に貢献できる。
3. データ利活用の現場で相互補完的な専門性を有する仲間と協力して、組織目標を達成するための核となる基礎的経験を積んでいる。
4. データ駆動型価値創造社会に貢献する人材として、データ利活用の社会的影響等を内省できる基礎的見識を備え、修了後の実務経験の中でデータに基づく意思決定に適切に反映できる。
5. 修了後の現場での課題に応じて、自律的に研究を進めることができ、多種多様な領域で価値創造するための適応力を備えている。

また、所定の単位を取得した者に対し、次の学位基準に基づいて修士の学位を与える。

(修士学位) 提出された修士学位論文が以下を満たすこと

- ・データサイエンス及びその関連分野における新たな成果を含む
- ・記述の論理構成が緻密であり、学問体系における成果の位置づけが明確で、かつ当該研究課題の周辺領域の専門家にも成果の意義が明快に伝わる

カリキュラム・ポリシー

日本学術会議の提言『ビッグデータ時代に対応する人材の育成』（平成 26 年 9 月）の公表以来、わが国ではいわゆるデータサイエンティストの不足が深刻で、その人材育成が喫緊の課題であると繰り返されてきました。そのため、「第 5 期科学技術基本計画」（平成 28 年 1 月）の提言を受けて、「日本再興戦略 2016」（閣議決定、平成 28 年 6 月）においては、「IoT・ビッグデータ・人工知能等の進展に対応した未来社会を創造する人材」を育成・確保するために、「データサイエンティストを育成する大学院の整備を促進」することが具体的施策として挙げられています。同工程表では、データサイエンティスト育成のための大学院整備は「2017 年度から取組」とされており、まさに喫緊の課題です。

本研究科の教育課程では、このような社会的要請に応えるために、データサイエンティスト育成に焦点を合わせたカリキュラムを用意しています。本研究科において育成する人材像は「複数分野の領域知識をもち、方法論とデータをつなぎ、価値を生み出す人材」です。その趣旨は次の通りです。データに基づいて適切な意思決定を行い価値創造するためには、第一に、適切な課題を見つける必要があります。次に、その課題の解決につながるデータを収集・取得し、加工や研磨などの前処理をします。そして、分析するためのモデルを決め、最適化計算を行います。最後に、計算結果を解釈して意思決定者にわかりやすく伝えます。社会が求めるデータサイエンティストは、このような「データに基づいて意思決定するための一連の過程」を自らのイニシアティブで実施し、価値創造につなげることのできる「一気通貫型」の人材です。特に、データから価値を創造するためには、方法論とデータをつなぐためのモデリングの技術が鍵となります。学士レベルでは、既製のモデルを使いこなすことを目標としますが、修士レベルでは、領域の課題とデータに合わせて特別仕様のモデルを自ら立てられることを目指します。

データサイエンスにおいて重要な基礎的能力は、大規模データを保存・加工・処理するための専門知識とスキル（データエンジニアリングスキル）と、データに内在するランダムネスを処理・測定するための専門知識とスキル（データアナリシススキル）です。そして、これらスキルを基盤として、領域の課題ごとに適切な分析モデルを構築するための専門知識とスキル（モデリングスキル）が必須です。

このようなデータエンジニアリングとデータアナリシス、そしてモデリングのスキルはデータサイエンティストに不可欠です。ただし、ビッグデータからの価値創造のためには、これらの能力だけでは不十分です。実際の問題解決のためには、ビジネスや政策など様々な領域における課題を読み取り、課題ごとに適したモデルを構築し、それに基づく分析結果を意思決定に活かしていかなければなりません。そのためには、応用領域における専門知識、各領域の専門家と意思疎通ができるコミュニケーション力、分析結果を分かりやすく説明し意思決定につなげるための提案力、意思決定を実行に移すための実現力も不可欠です。そして何より、これら能力うち一部のみを磨くことに特化するのではなく、データ

に基づく価値創造の過程全体を担う力量を高めることが重要です。

これらを踏まえて、本研究科のカリキュラム・ポリシーを次のように規定します。

1. データエンジニアリングとデータアナリシスの高度な専門知識とスキルを修得した上で、モデリングの方法論を修得し、データサイエンスに関する高度な知識とスキルを備えさせるために、大規模データを保存・加工・処理するための専門知識とスキルを学ぶデータエンジニアリング科目、データに内在するランダムネスを処理・測定するための専門知識とスキルを学ぶデータアナリシス科目、領域の課題ごとに適切な分析モデルを構築するための専門知識とスキルを学ぶモデリング科目、そして教育目的とカリキュラムの全体像を学生に伝えるために、前述のデータエンジニアリング科目・データアナリシス科目・モデリング科目の内容を概論する入門科目としてデータサイエンス概論を用意する。
2. 課題の発見、データ収集・前処理、モデルの決定・最適化計算、結果の解釈、そして意思決定につなげる一連の過程を自らのイニシアティブで実施でき、価値創造に貢献できるようにするために、データエンジニアリング科目・データアナリシス科目・モデリング科目に加えて、データから価値創造するための「型」を身につけるとともに領域知識に触れたり、データから価値を創造するための修了研究を行ったりする価値創造科目を設ける。
3. データ利活用の現場で相互補完的な専門性を有する仲間と協力して、組織目標を達成するための核となる基礎的経験を積むために、領域の専門家と連携してデータから価値を創造するための修了研究を行う価値創造科目を設ける。
4. データ駆動型価値創造社会に貢献する人材として、データ利活用の社会的影響等を内省できる基礎的見識を備え、修了後の実務経験の中でデータに基づく意思決定に適切に反映できるようになるために、価値創造科目において実際のデータから価値を創造する経験を積む機会を提供する。
5. 修了後の現場での課題に応じて、自律的に研究を進めることができ、多種多様な領域で価値創造するための適応力を備えられるように、学際領域であるデータサイエンスを網羅的に学ぶとともに実践も行うデータエンジニアリング科目、データアナリシス科目、モデリング科目、価値創造科目を用意する。

1, 2, 3 及び 5 の入門科目、データエンジニアリング科目、データアナリシス科目が対応する項目については、各項目の到達度を、各授業におけるレポートやプレゼンテーションによる報告、プログラミング課題等により評価する。

1, 2, 3, 4 及び 5 の価値創造科目が対応する項目については、各項目の到達度を、実際の問題を抱える領域の専門家へ向けたレポートやプレゼンテーションによる報告及び

提案，実施結果などにより評価する。

修士論文については，上記の能力のうち一部のみを磨くことに特化するのではなく，データに基づく価値創造の過程全体を担う力量を高めることを重視し，定期的なミーティング等においても計画や進捗を確認・議論することで研究指導を行い，次の観点から評価する：

- ・データサイエンス及びその関連分野における新たな成果を含むか
- ・記述の論理構成が緻密であり，学問体系における成果の位置づけが明確で，かつ当該研究課題の周辺領域の専門家にも成果の意義が明快に伝わるか

博士前期課程の教育課程

本研究科では，データに基づく価値創造の過程全体を担う一気通貫型の人材育成を目指しています。データサイエンスという学問の学際性から，多様なバックグラウンドをもつ学生を受け入れます。入学者としては，実務経験を持つ企業派遣の社会人，それ以外の学び直しの社会人や他大学・他学部からの進学者等の一般入学者，そして本学データサイエンス学部の出身者の3種類が想定されています。このうち，企業派遣の社会人や一般入学者については，まず統計学と情報学の基礎的専門知識を確認し，習熟度に応じたプレマスター教育として，データサイエンス学部以外では履修しないようなデータサイエンス学部上級レベルの内容を自習できるeラーニング教材を準備しています。eラーニング教材は，具体的には，本学データサイエンス学部講義用の資料および動画などから構成されています。このようなプレマスター教育により，企業派遣の社会人や一般入学者もデータサイエンス研究科の授業に対応できる学力を身に付けることができます。そのため，入学後の履修モデルは一本です。

入学後は，教育目的とカリキュラムの関係を概説する講義をまず行います。データに基づく価値創造を行う過程に必要な専門知識やスキルの説明や，その過程のマネジメント方法について講述します。また，データを扱う上での法令や倫理的側面についても扱います。

それと並行して，データエンジニアリングとデータアナリシスに関する講義を始めます。データエンジニアリングに関しては，ビッグデータを扱うための情報処理能力が必要であり，IoTやセキュリティ，前処理，分散処理に関する講義を行います。また，データアナリシスに関しては，データに内在するランダムネスを処理する能力が必要であり，モデルを記述する数学的な道具立てやモデルの評価方法に関する講義を行います。多くのモデルに共通して現れるようなデータエンジニアリング・データアナリシスのトピックを厳選します。それ以外のトピックについて学部レベルを超えるものについては，モデリングの授業

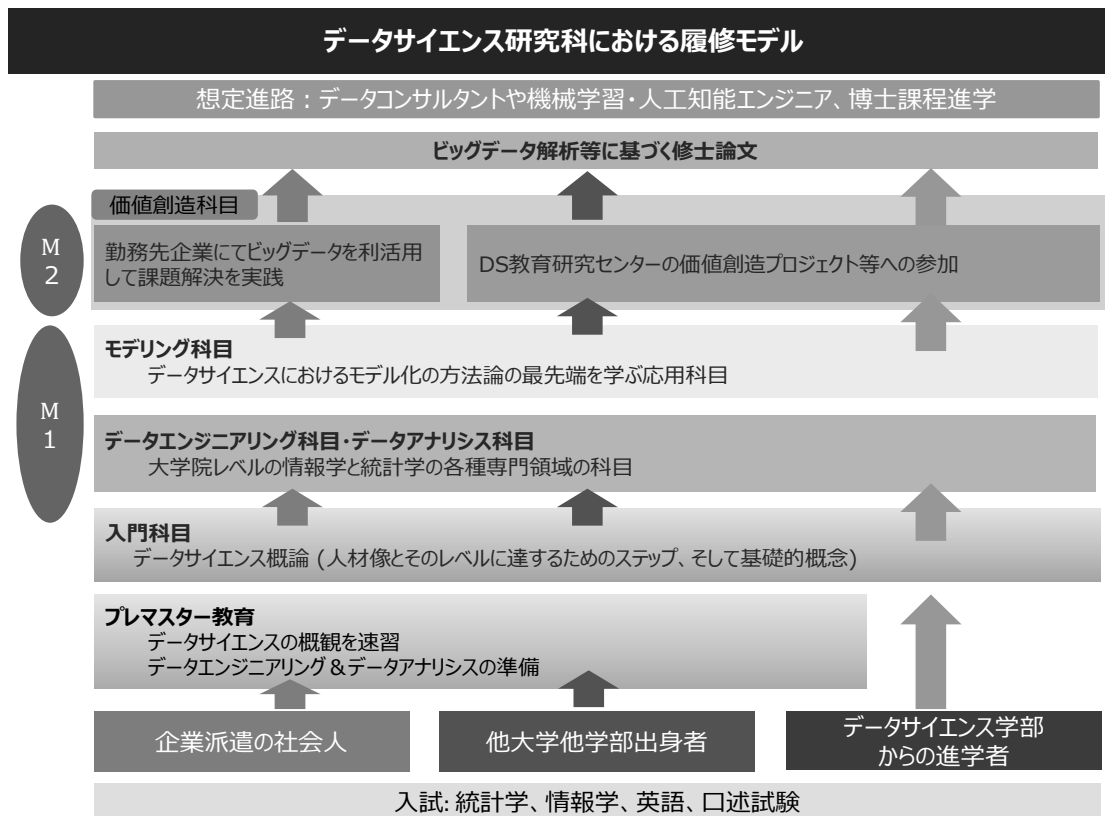
の中で、その方法論と共に一体的に講述します。

その後、モデリングの方法論に関する講義を本格的に提供します。様々な応用領域において用いられている実用的かつ汎用的なモデルを取り上げます。これにより、多様な領域において価値創造するための技術的適応力を養います。

なお、各講義にはそれぞれ、実践形式の授業も用意しています。そして、座学による理論的理解だけでなく、学術論文などから最先端理論や技術を自立的に学び、自らプログラミング実装したり最新のソフトウェアを用いて処理や分析をしたりするためのスキルを養います。

一方、データから価値創造を行う過程では、データエンジニアリング、データアナリシス、モデリングの能力を身に付けるだけでは不十分です。それに加えて、分析課題を適切に設定するための領域知識を身に付ける必要があります。また、実際のデータを分析し、問題解決を行う際には、分析結果を説明する必要がありますが、説明する相手は一般にデータサイエンスの専門家ではないことがほとんどです。そのような相手に平易に説明し、問題解決策の提案力や解決策を実施するための実行力の向上も必要となります。これらは、本学が学内および学外の応用領域の研究者・企業・自治体と行う共同研究に学生が参加することにより実践的に向上します。

このようなデータから価値創造するための専門知識とスキルを体系的に身に付ける教育課程を次のように編成します。



具体的には、主に1年次に、データエンジニアリング、データアナリシス、モデリングの方法論を学修し、データ前処理、モデルの決定、最適化計算、結果の解釈の技量を高めます。数理的な内容だけでなく、様々な応用分野における分析例も学びます。応用領域の新たな問題にデータサイエンスの手法を適用したり、新たにデータサイエンスの手法を発展させたりするための能力を身につけます。

それらを基盤として、2年次では、各自の興味と適性に応じ、修了研究を行います。本学が企業や自治体、あるいは他大学と行う共同研究に参加し、データサイエンスの発展や社会的な問題の解決に実際に貢献することを目指します。特に、解くべき課題を自ら発見する体験やデータを実際に収集・取得する体験、そして価値創造に結びつける体験をすることを重視します。

担当教員一覧（予定）

デ ー タ サ イ エ ン ス 専 攻	
担 当 教 員	研究キーワード
教 授 和 泉 志津恵	研究デザイン／インタラクティブ・ティーチング
教 授 飯 山 将 晃	画像処理／画像認識／深層学習／コンピュータビジョン
教 授 市 川 治	音声データ処理／音声認識
准教授 岩 山 幸 治	非線形時系列解析／バイオインフォマティクス
准教授 梅 津 高 朗	高度交通システム
准教授 奥 村 太 一	心理統計学／テスト理論
准教授 川 井 明	高度交通システム／モバイルアドホックネットワーク
教 授 河 本 薫	データ科学／ビジネスアナリティクス
教 授 齋 藤 邦 彦	プログラミング科学／ソフトウェア工学
教 授 佐 藤 健 一	統計的データ解析
教 授 佐 藤 智 和	コンピュータビジョン／仮想化現実／複合現実
教 授 佐 藤 正 昭	統計調査／社会・経済統計
教 授 椎 名 洋	統計的決定理論／多変量解析
教 授 清 水 昌 平	統計的因果推論
准教授 周 曉 康	ユビキタスコンピューティング／ビッグデータ／機械学習
教 授 杉 本 知 之	医学統計／計算機統計
准教授 伊 達 平 和	社会調査
准教授 田 中 琢 真	脳・中枢神経系の情報処理
准教授 寺 口 俊 介	バイオインフォマティクス／機械学習／数理モデル ／素粒子論
准教授 姫 野 哲 人	多変量解析
教 授 笛 田 薫	統計的モデリング
准教授 藤 井 孝 之	確率過程／変化点解析
准教授 松 井 秀 俊	統計的モデリング／変数選択
准教授 村 松 千左子	医用画像／深層学習

令和5年度データサイエンス研究科博士前期課程入試情報

募集人員

選抜種別	専攻名
	データサイエンス専攻
早期特別入試	12名※
一般入試	13名
派遣社会人入試	15名

※早期特別入試合格者(入学手続者)が募集人員に満たない場合は, その不足した人員をデータサイエンス研究科博士前期課程一般入試の募集人員に加えます。

選抜方法・出願期間等

選抜種別	選抜方法	出願期間	試験日程
早期特別入試	統計学, 情報学, 英語 口述試験	令和4年5月30日(月) ～6月2日(木)16時	令和4年6月11日(土)
一般入試	第1次選考 統計学, 情報学, 英語	令和4年10月31日(月) ～11月4日(金)16時	令和4年12月3日(土)
	第2次選考 口述試験		
派遣社会人入試	第1次選考 書類選考		
	第2次選考 口述試験		

選抜方法・出願手続などは, 各選抜種別により異なるので, 受験する選抜種別の事項を確認してください。

令和4年度 データサイエンス研究科入学者 選抜状況資料

○博士前期課程

*1次選考を含む

データサイエンス専攻	募集人員	志願者	受験者*	合格者	1次選考 合格者	2次選考 受験者	最終合格者	辞退者	入学者
早期特別入試	40	21	21	16	—	—	—	2	14
一般入試		28	28	—	27	27	19	4	15
派遣社会人入試		17	17	—	17	17	17	0	17
合計	40	66	66	—	44	44	36	6	46

○博士後期課程

データサイエンス専攻	募集人員	志願者	1次選考 合格者	2次選考 受験者	最終合格者	辞退者	入学者
計	3	6	6	6	6	1	5

早期特別入試学生募集要項

1. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、次頁に定める教科の外部試験を受験し、その合計点数が、次頁に定める換算式により 250 点以上の者

- (1) 学校教育法第 83 条に規定する大学を卒業した者及び令和 5 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 5 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 5 年 3 月までに授与される見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 令和 5 年 3 月末までに大学に 3 年以上在学した者（学校教育法第 102 条第 2 項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者〔注 1〕〔注 2〕
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 5 年 4 月 1 日現在、22 歳に達した者〔注 2〕

〔注 1〕 (9)により出願する者は、次の条件を満たしていること。

- ① 出願時に大学の 3 年次に在学していること
- ② 令和 5 年 3 月末までに 112 単位以上を修得する見込みがあり、かつ、そのうちの 72 単位以上が S（秀）、A（優）で占めることが見込まれること
なお、修得単位数には認定単位は算入しない。
また、入学試験に合格した後これらの単位を修得することができないことが確定した場合は、合格を取り消すこととする。

〔注 2〕 出願資格(9)・(10)のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を令和 4 年 5 月 13 日(金)17 時までにを行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

表（合計 400 点）

教 科	外 部 試 験 名 及 び 換 算 式		配点
統計学	統計検定 2 級 ・試験結果レポートの点数 $\times 1$ 合格者は 50 点を加算 準 1 級, 1 級統計数理合格者は 150 点とする。		150
情報学	IT パスポート試験 ・試験結果レポートの点数 $\times 0.1$ （小数点以下切り捨て） 合格者は 50 点を加算 基本情報技術者試験, 応用情報技術者試験合格者は 150 点とする。		150
英 語 TOEIC 又は TOEFL-iBT の いずれか	TOEIC	・公式認定書 (Official Score Certificate) 又はスコアレポート (個人成績表) のスコア $\div 990 \times 100$ （小数点以下切り捨て） ・平成 31 年 1 月以降に受験したもの。	100
	TOEFL-iBT	・Official Score Reports の Test Date スコア $\div 120 \times 100$ （小数点以下切り捨て） ・平成 31 年 1 月以降に受験したもの。	

「TOEIC」は TOEIC Listening & Reading Test の公開テスト及び IP テストを示す。
但し, TOEIC® Program IP テスト (オンライン) を除く。

上表の外部試験は以下の団体等によるものです。

- ・統計検定 一般財団法人 統計質保証推進協会
- ・IT パスポート試験 情報処理推進機構
- ・基本情報技術者試験 情報処理推進機構
- ・応用情報技術者試験 情報処理推進機構
- ・TOEIC Listening & Reading Test
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・TOEFL-iBT Educational Testing Service (ETS)

2. 出 願 期 間

令和 4 年 5 月 30 日(月)から 6 月 2 日(木) 16 時(必着)

出願書類はすべて郵送（書留速達）とし, 期間内必着としますので, 郵便事情を十分考慮して送付してください。

ただし, 6 月 2 日(木)9 時 30 分から 16 時までの間に限り, 窓口への直接提出も受理します。

3. 入学検定料

30,000 円

- (1) 入学検定料は, 令和 4 年 5 月 23 日(月)から 6 月 2 日(木)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の 5 連式払込用紙を使用して, 最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。なお, 現金自動預払機 (ATM), クレジットカード, 国外の金融機関の利用はできません。
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ, 手数料は不要です。その他の金融機関（滋賀銀行以外の銀行・郵便局）からの払い込みは手数料が必要

となります。

- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。

なお、受付印を受けた「振替払込受付証明書」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。

- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) 出願時現在、日本国政府（文部科学省）から奨学金を得ている留学生は納付不要です。この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。

(注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下（ア）（イ）に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

（ア）検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者

（イ）検定料を誤って二重に払い込んだ者

該当する者は、入試課（0749-27-1023）まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要です。請求まで大切に保管しておいてください。

4. 出 願 手 続

1. 出願書類等

出 願 書 類 等		摘 要
1	入 学 志 願 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。
2	受 験 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・氏名等を記入してください。
3	写 真 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。
4	検 定 料 納 付 確 認 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・所定欄に受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。
5	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、証明書は原本又は、 原本証明したもの であること。 ・本学データサイエンス学部又は経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。
6	成 績 証 明 書	・出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。なお、証明書は 原本又は、原本証明したもの であること。 ・本学データサイエンス学部又は経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。
7	研 究 計 画 書	・本研究科所定の用紙を使用してください。（3,000字程度）
8	統 計 検 定 2 級 の 試 験 結 果 レ ポ ー ト	・試験結果レポートの原本又は統計検定試験結果証明書を提出してください。 準1級、1級「統計数理」合格者は合格証の原本を提出してください。 ※試験結果レポート及び合格証の原本は受験票とともに返却します。

9	I T パスポート試験 の試験結果レポート	- 試験結果レポートの原本を提出してください。 - 基本情報技術者試験，応用情報技術者試験合格者は合格証書の原本を提出してください。 ※試験結果レポート及び合格証書の原本は受験票とともに返却します。	
10	「TOEIC」*の公式認定証 又は 「TOEFL-iBT」 の Total スコアレポート 「TOEIC」は TOEIC Listening & Reading Test の公開 テスト及び IP テスト を示す，但し，TOEIC® Program IP テスト(オ ンライン)を除く。	TOEIC	- 平成 31 年 1 月以降受験したもの。(複数回受験している場合は採用を希望するいずれか1つ) - 公開テスト受験者は，公式認定書 (Official Score Certificate) の原本を提出してください。公式認定証は，スコア部分を切り離さずに提出してください。 - IP テスト受験者はスコアレポート (個人成績表) の原本を提出してください。
		TOEFL - iBT	- 平成 31 年 1 月以降に受験したもの。 - Official Score を試験実施機関 (ETS) から直接滋賀大学に送付する手続を取ってください。受験生本人に送付される試験結果を提出しても無効です。滋賀大学の登録番号は 8392 です。学部別のコード番号はありません。TOEFL 受験時にこのコード番号により手続を行えば，試験後に直接滋賀大学へ試験結果が送付されます。 - TOEFL 受験時に滋賀大学への送付手続を行わなかった場合には，後日 ETS の定めに従って Official Score の送付手続を取ってください。 なお，出願期日最終日までに届くよう手続をしてください。
11	在留カードのコピー (外国人のみ)	- 在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 - 在留カードの交付を受けていない者は，パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。	
12	レターパックライト (受験票，試験結果レ ポート原本，合格証原 本等送付用封筒)	①お近くの郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所 (一部を除きます) で「レターパックライト」を購入(料金 370 円)してください。 ②購入後，「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し，さらに「お届け先」欄に志願者の住所，氏名，電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。 ③記入後，「レターパックライト」を半分に折り曲げて，出願書類提出用封筒の中に封入してください。 なお，その際「お届け先」記入欄が見えるよう (外側) に折り曲げてください。	
13	あ て 名 票	- 本研究科所定の用紙を使用してください。 - 合格通知書受取人 (日本国内の連絡先) の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。	

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書，6 成績証明書を除く出願書類については，日本語以外で書かれたものは，必ず日本語訳を添付してください。5 卒業証明書又は卒業見込証明書，6 成績証明書については，日本語・英語以外で書かれたものは，日本語訳を添付してください。日本語訳については，公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限りします。該当するものが無い場合は，第三者 (機関) によるものとします。

7 研究計画書はワープロで作成することも可能です。その際は，滋賀大学ホームページ「入学案内」(<https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>) > 「受験案内」 > データサイエンス研究科から「研究計画書」(Word)をダウンロードし，A 4 判用紙 (片面印刷) に印刷して提出してください。

2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を提出してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。なお、払い込み済の「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類（受験票とともに返却する書類を除く）は、いかなる理由があっても返還しません。

3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 （〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号）

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、出願書類及び学力検査（外部試験〔1. 出願資格の表参照〕及び口述試験）を併せて総合的に選考します。

6. 学 力 検 査 科 目 及 び 要 領

(1) 外部試験

教 科	外部試験名	配点
統計学	統計検定2級	150
情報学	ITパスポート試験	150
英語	TOEIC Listening & Reading Test の公開テスト、 TOEIC Listening & Reading Test の IP テスト (TOEIC® Program IP テスト (オンライン) を除く)、 TOEFL-iBT のいずれか	100
合 計		400

注 「教科」は、3教科すべてを受験し、成績は出願時に提出します。

換算式は1. 出願資格の表に同じです。

上表の外部試験は以下の団体等によるものです。

- ・統計検定……………一般財団法人 統計質保証推進協会
- ・ITパスポート試験……………情報処理推進機構
- ・基本情報技術者試験……………情報処理推進機構
- ・応用情報技術者試験……………情報処理推進機構
- ・TOEIC Listening & Reading Test……………
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・TOEFL-iBT……………Educational Testing Service (ETS)

(2) 口述試験

提出された「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭試問します。

(3) 口述試験期日及び試験時間

令和4年6月11日(土)	10時00分～
--------------	---------

口述試験は、オンライン面接とします。

オンライン面接には、インターネット利用可能環境と Zoom 利用可能環境（パソコン等の通信機器とマイク・web カメラ・スピーカーもしくはイヤフォン、パソコン環境が整っていない場合はスマートフォンの利用も可とする）が必要です。

出願までに志願者が準備してください。

インターネット利用可能環境と Zoom 利用可能環境の構築が難しい場合は出願期間内に滋賀大学入試課（Tel :0749-27-1023〔平日 9:00～17:00（土日祝日を除く）〕 email:nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）まで申し出て下さい。

なお、Zoom 利用にかかる設定等の詳細は受験票とともにお知らせします。

Zoom (Zoom Video Communications Inc) はオンラインで会議ができるアプリケーションです。

以下のURLからダウンロードできます。

<https://zoom.us/download>

(4) 口述試験に関する注意事項

口述試験（オンライン面接）の際に他者によるなりすまし受験や他の受験者への協力的行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、オンライン面接中の録音・録画又は同時に他に中継し、公開する等、試験内容を記録に残す又は公開する行為等があった場合は、不正行為とみなし、受験資格を失います。また、入学決定後であっても、入学の許可を取り消します。なお、その場合も提出された書類・資料等及び入学検定料は返還できません。

その他 31 頁の「2. 受験上の注意事項」を確認してください。

7. 合格者発表

令和4年6月17日(金) 13時(予定)

本学ホームページ上で合格者の受験番号を掲載します。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書をもって、正式な通知といたします。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

8. 入学手続

1. 入学手続の日時及び場所

令和4年11月9日(水) 必着（郵送のみ）

2. 入学手続関係書類の提出

入学手続に必要な書類は、合格通知書とは別に後日まとめて送付しますので、同封の入学手続要項の指示に従って提出してください。

3. 入学料及び授業料等

- (1) 入学料 282,000 円
- (2) 授業料 267,900 円(前期分)〔年額 535,800 円〕
- (3) 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円
- (4) 学研災付帯賠償責任保険料 680 円

- (注) ① 上記の金額は改定される場合があります。
- ② 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ③ 授業料の納付は入学後になります。また、申し出により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
- ④ 入学料及び授業料は免除制度があります。
- ⑤ 授業料が在学中に改定された場合には、改定時から新しい料金が適用されます。
- ⑥ 入学料、学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料以外に、諸経費として、次の費用が必要となります。
- データサイエンス研究科 約 37,500 円
- ⑦ 令和 5 年 3 月 31 日(金)17 時までにはやむを得ず入学を辞退した場合は、納付された方の申し出により諸経費を後日返還いたします。

4. 入学手続に関する注意事項

合格者が、入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取扱います。

また、入学料免除申請あるいは入学料徴収猶予申請をされた方が入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学料を納付しないと入学辞退の願い出を受理できません。

●以下は共通事項（31 頁）へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 指導教員の決定
6. 長期履修学生制度
7. 個人情報の取扱い
8. 入学試験個人成績の開示
9. その他

一般入試学生募集要項

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に規定する大学を卒業した者及び令和 5 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 5 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 5 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 5 年 3 月までに授与される見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 令和 5 年 3 月末までに大学に 3 年以上在学した者（学校教育法第 102 条第 2 項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者〔注 1〕〔注 2〕
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 5 年 4 月 1 日現在、22 歳に達した者〔注 2〕

〔注 1〕 (9)により出願する者は、次の条件を満たしていること。

- ① 出願時に大学の 3 年次に在学していること
- ② 令和 5 年 3 月末までに 112 単位以上を修得する見込みがあり、かつ、そのうちの 72 単位以上が S（秀）、A（優）で占めることが見込まれること
なお、修得単位数には認定単位は算入しない。
また、入学試験に合格した後これらの単位を修得することができないことが確定した場合は、合格を取り消すこととする。

〔注 2〕 出願資格(9)・(10)のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を令和 4 年 10 月 14 日(金)17 時までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

2. 出 願 期 間

令和4年10月31日(月)から11月4日(金) 16時(必着)

出願書類はすべて郵送(書留速達)とし、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。

ただし、11月4日(金)9時30分から16時までの間に限り、窓口への直接提出も受理します。

3. 入学検定料

30,000 円

- (1) 入学検定料は、令和4年10月24日(月)から11月4日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の5連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。なお、現金自動預払機(ATM)、クレジットカード、国外の金融機関の利用はできません。
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関(滋賀銀行以外の銀行・郵便局)からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。
なお、受付印を受けた「振替払込受付証明書」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) 出願時現在、日本国政府(文部科学省)から奨学金を得ている留学生は納付不要です。この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。

(注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)者

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。

4. 出 願 手 続

1. 出願書類等

出 願 書 類 等		摘 要
1	入 学 志 願 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。
2	受 験 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・氏名等を記入してください。

3	写 真 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。	
4	検 定 料 納 付 確 認 票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・所定欄に受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。	
5	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。 ・本学データサイエンス学部又は経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。	
6	成 績 証 明 書	・出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。 ・本学データサイエンス学部又は経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。	
7	研 究 計 画 書	・本研究科所定の用紙を使用してください。(3,000 字程度)	
8	統 計 検 定 2 級 の試験結果レポート	・試験結果レポートの原本又は統計検定試験結果証明書を提出してください。 - 準1級, 1級「統計数理」合格者は合格証の原本を提出してください。 ※試験結果レポート及び合格証の原本は受験票とともに返却します。	
9	I T パスポート試験 の試験結果レポート	・試験結果レポートの原本を提出してください。 - 基本情報技術者試験, 応用情報技術者試験合格者は合格証書の原本を提出してください。 ※試験結果レポート及び合格証書の原本は受験票とともに返却します。	
10	「TOEIC」*の公式認定証 又は 「TOEFL-iBT」 の Total スコアレポート 「TOEIC」は TOEIC Listening & Reading Test の公 開テスト及び IP テス トを示す, 但し TOEIC® Program IP テスト (オンライン) を除く。	TOEIC	・平成 31 年 1 月以降に受験したもの。(複数回受験している場合は採用を希望するいずれか1つ) ・公開テスト受験者は, 公式認定書 (Official Score Certificate) の原本を提出してください。公式認定証は, スコア部分を切り離さずに提出してください。 ・IP テスト受験者はスコアレポート (個人成績表) の原本を提出してください。
		TOEFL - iBT	・平成 31 年 1 月以降に受験したもの。 ・Official Score を試験実施機関 (ETS) から直接滋賀大学に送付する手続を取ってください。受験生本人に送付される試験結果を提出しても無効です。滋賀大学の登録番号は 8392 です。学部別のコード番号はありません。TOEFL 受験時にこのコード番号により手続を行えば, 試験後に直接滋賀大学へ試験結果が送付されます。 - TOEFL 受験時に滋賀大学への送付手続を行わなかった場合には, 後日 ETS の定めに従って Official Score の送付手続を取ってください。 - なお, 出願期日最終日までに届くよう手続をしてください。
11	在留カードのコピー (外国人のみ)	・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 ・在留カードの交付を受けていない者は, パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。	

12	レターパックライト (受験票, 試験結果レポート原本, 合格証原本等送付用封筒)	①お近くの郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所（一部を除きます）で「<u>レターパックライト</u>」を購入(料金 370 円)してください。 ②購入後, 「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し, さらに「お届け先」欄に志願者の住所, 氏名, 電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。 ③記入後, 「レターパックライト」を半分に折り曲げて, 出願書類提出用封筒の中に封入してください。 なお, その際「お届け先」記入欄が見えるよう（外側）に折り曲げてください。
13	あて名票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・合格通知書受取人（日本国内の連絡先）の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書を除く出願書類については, 日本語以外で書かれたものは, 必ず日本語訳を添付してください。5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書については, 日本語・英語以外で書かれたものは, 日本語訳を添付してください。日本語訳については, 公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限りま

す。該当するものが無い場合は, 第三者（機関）によるものとします。
7 研究計画書はワープロで作成することも可能です。その際は, 滋賀大学ホームページ「入学案内」(<https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>) > 「受験案内」 > データサイエンス研究科から「研究計画書」(Word)をダウンロードし, A4判用紙（片面印刷）に印刷して提出してください。

2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は, これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を提出してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後, 出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し, 郵送又は持参により提出してください。なお, 払い込み済の「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は, 出願を受理しません。
- (3) 郵送の場合は, 出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は, 受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は, 受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は, 記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類（受験票とともに返却する書類を除く）は, いかなる理由があっても返還しません。

3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 （〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号）

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は, 次のとおり第1次選考, 第2次選考に分けて実施します。

(1) 第1次選考

出願書類及び学力検査（外部試験〔次頁 6. (1) 参照〕）400点を併せて, 総合的に選考します。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者に対して, 口述試験を行い, 第1次選考の結果と併せて総合的に選考します。

6. 学 力 検 査 科 目 及 び 要 領

(1) 第1次選考

教 科	外 部 試 験 名 及 び 換 算 式		配点
統計学	統計検定2級 ・試験結果レポートの点数 $\times 1$ 合格者は50点を加算 準1級, 1級統計数理合格者は150点とする。		150
情報学	ITパスポート試験 ・試験結果レポートの点数 $\times 0.1$ (小数点以下切り捨て) 合格者は50点を加算 基本情報技術者試験, 応用情報技術者試験合格者は150点とする。		150
英 語 TOEIC 又は TOEFL-iBT の いずれか	TOEIC	・公式認定書 (Official Score Certificate) 又はスコアレポート (個人成績表) のスコア $\div 990 \times 100$ (小数点以下切り捨て) ・平成31年1月以降に受験したもの。 ・TOEIC® Program IPテスト (オンライン) を除く。	100
	TOEFL-iBT	・Official Score Reports の Test Date スコア $\div 120 \times 100$ (小数点以下切り捨て) ・平成31年1月以降に受験したもの。	
合 計			400

注 「教科」は, 3教科すべてを受験します。

上表の外部試験は以下の団体等によるものです。

- ・統計検定……………一般財団法人 統計質保証推進協会
- ・ITパスポート試験……………情報処理推進機構
- ・基本情報技術者試験……………情報処理推進機構
- ・応用情報技術者試験……………情報処理推進機構
- ・TOEIC Listening & Reading Test……………
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・TOEFL-iBT……………Educational Testing Service (ETS)

(2) 第2次選考

口述試験

提出された「研究計画書」を中心に, 希望研究分野に関して口頭試問します。

(3) 口述試験期日及び試験時間

令和4年12月3日(土)	10時00分～
--------------	---------

口述試験は, オンライン面接とします。

オンライン面接には, インターネット利用可能環境と Zoom 利用可能環境 (パソコン等の通信機器とマイク・web カメラ・スピーカーもしくはイヤフォン, パソコン環境が整っていない場合はスマートフォンの利用も可とする) が必要です。

出願までに志願者が準備してください。

インターネット利用可能環境と Zoom 利用可能環境の構築が難しい場合は出願期間内に滋賀大学入試課 (Tel :0749-27-1023 [平日 9:00~17:00 (土日祝日を除く)]) email:nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) まで申し出て下さい。

なお、Zoom 利用にかかる設定等の詳細は受験票とともにお知らせします。

Zoom (Zoom Video Communications Inc) はオンラインで会議ができるアプリケーションです。

以下の URL からダウンロードできます。

<https://zoom.us/download>

(4) 口述試験に関する注意事項

口述試験 (オンライン面接) の際に他者によるなりすまし受験や他の受験者への協力行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、オンライン面接中の録音・録画又は同時に他に中継し、公開する等、試験内容を記録に残す又は公開する行為等があった場合は、不正行為とみなし、受験資格を失います。また、入学決定後であっても、入学の許可を取り消します。なお、その場合も提出された書類・資料等及び入学検定料は返還できません。その他、31 頁の「2. 受験上の注意事項」を確認してください。

7. 第 1 次選考結果の通知

令和 4 年 11 月 18 日 (金) 13 時 (予定)

本学ホームページ上で第 1 次選考合格者の受験番号を掲載します。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。第 1 次選考合格者には、「第 1 次選考合格通知書」を郵送します。この合格通知書をもって、正式な通知といたします。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

8. 合 格 者 発 表

令和 4 年 12 月 16 日 (金) 13 時 (予定)

本学ホームページ上で合格者の受験番号を掲載します。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書をもって、正式な通知といたします。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

9. 入 学 手 続

1. 入学手続の日時及び場所

郵送の場合	令和 5 年 3 月 14 日 (火) 必着
持参の場合	令和 5 年 3 月 15 日 (水) 14 時~15 時 30 分 滋賀大学彦根キャンパス

2. 入学手続関係書類の提出

入学手続に必要な書類は、合格通知書とは別に後日まとめて送付しますので、同封の入学手続要項の指示に従って提出してください。

3. 入学料及び授業料等

- (1) 入学料 282,000 円
- (2) 授業料 267,900 円(前期分)〔年額 535,800 円〕
- (3) 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円
- (4) 学研災付帯賠償責任保険料 680 円

- (注) ① 上記の金額は改定される場合があります。
- ② 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ③ 授業料の納付は入学後になります。また、申し出により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
- ④ 入学料及び授業料は免除制度があります。
- ⑤ 授業料が在学中に改定された場合には、改定時から新しい料金が適用されます。
- ⑥ 入学料、学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料以外に、諸経費として、次の費用が必要となります。
- データサイエンス研究科 約 37,500 円
- ⑦ 令和5年3月31日(金)17時までにやむを得ず入学を辞退した場合は、納付された方の申し出により諸経費を後日返還いたします。

4. 入学手続に関する注意事項

- 合格者が、入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取扱います。
- また、入学料免除申請あるいは入学料徴収猶予申請をされた方が入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学料を納付しないと入学辞退の願い出を受理できません。

●以下は共通事項（31 頁）へ続く

- 1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
- 2. 受験上の注意事項
- 3. 入学試験の実施に関する注意事項
- 4. 入学料・授業料等
- 5. 指導教員の決定
- 6. 長期履修学生制度
- 7. 個人情報の取扱い
- 8. 入学試験個人成績の開示
- 9. その他

派遣社会人入試学生募集要項

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ【出願時において大学卒業後若しくは学士の学位取得後1年以上社会人としての経験を有する者】で、出願時に事業所（官公庁、銀行、企業、各種団体等）に勤務し、事業所から派遣証明のある者

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者〔注〕

〔注〕 出願資格(6)により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を令和4年10月14日(金)17時までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

2. 出願期間

令和4年10月31日(月)から11月4日(金) **16時(必着)**

出願書類はすべて郵送（書留速達）とし、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。

ただし、11月4日(金)9時30分から16時までの間に限り、窓口への直接提出も受理します。

3. 入学検定料

30,000円

- (1) 入学検定料は、令和4年10月24日(月)から11月4日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の5連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。なお、**現金自動預払機(ATM)、クレジットカード、国外の金融機関の利用はできません**。
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関（滋賀銀行以外の銀行・郵便局）からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。

なお、受付印を受けた「振替払込受付証明書」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。

- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。

(注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下（ア）（イ）に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

（ア）検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者

（イ）検定料を誤って二重に払い込んだ者

該当する者は、入試課（0749-27-1023）まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要です。請求まで大切に保管しておいてください。

4. 出 願 手 続

1. 出願書類等

出 願 書 類 等		摘 要
1	入 学 志 願 票	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。
2	受 験 票	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。 ・ 氏名等を記入してください。
3	写 真 票	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。 ・ 写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。
4	検 定 料 納 付 確 認 票	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。 ・ 受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。
5	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。 ・ 本学データサイエンス学部又は経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。
6	成 績 証 明 書	・ 出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。 ・ 本学データサイエンス学部又は経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。
7	志 願 理 由 書	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。（800 字程度）
8	研 究 計 画 書	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。（3, 000 字程度）
9	実 務 経 験 書	・ 本研究科所定の用紙を使用してください。（8, 000 字程度）

10	派遣証明書	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・派遣責任者が作成してください。 ・派遣責任者が出願者本人である場合は、業界団体等（例えば商工会議所など）の第三者による推薦書を別途提出してください。
11	在留カードのコピー (外国人のみ)	・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 ・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。
12	レターパックライト (受験票等送付用封筒)	①お近くの郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所（一部を除きます）で「<u>レターパックライト</u>」を購入（料金 370 円）してください。 ②購入後、「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し、さらに「お届け先」欄に志願者の住所、氏名、電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。 ③記入後、「レターパックライト」を半分に折り曲げて、出願書類提出用封筒の中に封入してください。 なお、その際「お届け先」記入欄が見えるよう（外側）に折り曲げてください。
13	あて名票	・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・合格通知書受取人（日本国内の連絡先）の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書を除く出願書類については、日本語以外で書かれたものは、必ず日本語訳を添付してください。5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書については、日本語・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。日本語訳については、公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限りま。該当するものが無い場合は、第三者（機関）によるものとします。

7 志願理由書, 8 研究計画書, 9 実務経験書, 10 派遣証明書はワープロで作成することも可能です。その際は、滋賀大学ホームページ「入学案内」(<https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>)>「受験案内」>データサイエンス研究科から各書式(Word)をダウンロードし、A4判用紙(片面印刷)に印刷して提出してください。

2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を提出してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。なお、払い込み済の「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次のとおり第1次選考、第2次選考に分けて実施します。

(1) 第1次選考

出願書類により書類選考します。

特に、研究計画書、実務経験書から、データサイエンスを修めるための基礎的な知識・技能を評価し、基礎力の有無を判定します。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者に対して、口述試験を行い、第1次選考の結果と併せて総合的に選考します。

6. 口 述 試 験 要 領

1. 口述試験

提出された「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭試問します。

2. 口述試験期日及び試験時間

令和4年12月3日(土)	10時00分～
--------------	---------

口述試験は、オンライン面接とします。

オンライン面接には、インターネット利用可能環境と Zoom 利用可能環境（パソコン等の通信機器とマイク・web カメラ・スピーカーもしくはイヤフォン、パソコン環境が整っていない場合はスマートフォンの利用も可とする）が必要です。

出願までに志願者が準備してください。

インターネット利用可能環境と Zoom 利用可能環境の構築が難しい場合は出願期間内に滋賀大学入試課（Tel :0749-27-1023〔平日 9：00～17：00（土日祝日を除く）〕 email:nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）まで申し出て下さい。

なお、Zoom 利用にかかる設定等の詳細は受験票とともにお知らせします。

Zoom (Zoom Video Communications Inc) はオンラインで会議ができるアプリケーションです。

以下のURLからダウンロードできます。

<https://zoom.us/download>

3. その他

口述試験（オンライン面接）の際に他者によるなりすまし受験や他の受験者への協力行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、オンライン面接中の録音・録画又は同時に他に中継し、公開する等、試験内容を記録に残す又は公開する行為等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。また、入学決定後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等及び入学検定料は返還できません。その他、31 頁の「2. 受験上の注意事項」を確認してください。

7. 第1次選考結果の通知

令和4年11月18日(金) 13時(予定)

本学ホームページ上で第1次選考合格者の受験番号を掲載します。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。第1次選考合格者には、「第1次選考合格通知書」を郵送します。この合格通知書をもって、正式な通知といたします。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

8. 合格者発表

令和4年12月16日(金) 13時(予定)

本学ホームページ上で合格者の受験番号を掲載します。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書をもって、正式な通知といたします。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

9. 入学手続

1. 入学手続の日時及び場所

郵送の場合	令和5年3月14日(火) 必着
持参の場合	令和5年3月15日(水)14時～15時30分 滋賀大学彦根キャンパス

2. 入学手続関係書類の提出

入学手続に必要な書類は、合格通知書とは別に後日まとめて送付しますので、同封の入学手続要項の指示に従って提出してください。

3. 入学料及び授業料等

- (1) 入学料 282,000 円
 - (2) 授業料 267,900 円(前期分)〔年額 535,800 円〕
 - (3) 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円
 - (4) 学研災付帯賠償責任保険料 680 円
- (注) ① 上記の金額は改定される場合があります。
② 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
③ 授業料の納付は入学後になります。また、申し出により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
④ 入学料及び授業料は免除制度があります。
⑤ 授業料が在学中に改定された場合には、改定時から新しい料金が適用されます。
⑥ 入学料、学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料以外に、諸経費として、次の費用が必要となります。
データサイエンス研究科 約 37,500 円
⑦ 令和5年3月31日(金)17時までにはやむを得ず入学を辞退した場合は、納付された方の申し出により諸経費を後日返還いたします。

4. 入学手続に関する注意事項

合格者が、入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取扱います。

また、入学料免除申請あるいは入学料徴収猶予申請をされた方が入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学料を納付しないと入学辞退の願い出を受理できません。

●以下は共通事項（31 頁）へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 指導教員の決定
6. 長期履修学生制度
7. 個人情報の取扱い
8. 入学試験個人成績の開示
9. その他

【 共通事項 】

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

本学大学院に入学を志望する者で、障害等により、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある者は、以下により受験上の配慮申請書を提出し相談してください。

なお、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、その時点で速やかに電話等により相談してください。

(1) 受験上の配慮申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- ② 出願する入試種別、志望専攻
- ③ 障害等の状況（現に治療中の者は、医師の診断書（コピー可）を添付すること）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 日常生活の状況

(2) 配慮申請書の提出期限 出願開始日まで

(3) 書類の提出先 出願書類の提出先に同じ

※ 配慮申請書はA4サイズ（日本工業規格）の用紙に上記の内容を記載したもの（様式は任意）を作成、または、本学ホームページ（<https://www.shiga-u.ac.jp/>）「トップページ」>「入学案内」>「受験案内」内の「受験上等の配慮事前相談」に掲載の様式データファイルをダウンロードのうえ作成してください。

2. 受験上の注意事項

- (1) 口述試験は、オンライン面接とします。
- (2) 受験票は、口述試験時は手元に準備し、指示があった場合すぐに web カメラで提示できる状態にしてください。
- (3) ミーティング参加前に、口述試験で使用するウインドウ以外は全て終了してください。
ミーティングに参加した後は通信端末について、大学からの指示以外の操作をしてはいけません。
- (4) 口述試験（オンライン面接）の際に他者によるなりすまし受験や他の受験者への協力行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、オンライン面接中の録音・録画又は同時に他に中継し、公開する等、試験内容を記録に残す又は公開する行為等があった場合は、不正行為とみなし、受験資格を失います。
また、入学決定後であっても、入学の許可を取り消します。なお、その場合でも提出された書類・資料等及び入学検定料は返還できません。
- (4) 監督者（面接員）の指示に従わない者、不正行為をした（しようとした）者は、受験資格を失います。

3. 入学試験の実施に関する注意事項

災害の発生や感染症の蔓延などにより、入学試験を実施するにあたり安全な受験環境を確保するために適切な措置を講じる必要が生じた場合には、別途、本学ホームページ等で受験者に告知しますので、本学の指示に従ってください。

4. 入学料・授業料等

1. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円
- (2) 授業料 267,900 円（前期分）〔年額 535,800 円〕
- (3) 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円

- (4) 学研災付帯賠償責任保険料 680 円
(注) 上記の金額は改定される場合があります。

2. 諸経費

入学科、授業料、学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料以外に、諸経費として約 37,500 円が必要となります。

5. 指導教員の決定

研究テーマを 1 年次春学期が終了するまでに決定し、それに応じて、1 年次の秋学期開始までに主担当教員と副担当教員を決定します。

6. 長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等のために標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。事情に応じて標準の修業年限(2 年)を超えて一定の期間(3 年又は 4 年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、2 年間(標準の修業年限)分の授業料総額を、あらかじめ認められた一定の修業年限で除した額にして、それぞれの年に支払うことになります。

7. 個人情報の取扱い

国立大学法人滋賀大学における学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて

国立大学法人滋賀大学（以下「本学」という）は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の不正利用や漏えいを防ぎ、個人情報を適切に取り扱うため、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」及び「国立大学法人滋賀大学保有個人情報管理規程」に則り、個人情報の適切な保護管理に努めています。

本学における学生及び保護者に係る保有個人情報の取扱いは、次のとおりです。

- (1) 本学における学生、保護者等の主な保有個人情報は、入学試験情報及び入学手続き時に提出していただいた情報並びに入学後の修学、学生生活支援、健康等の管理又は指導に必要なものとして作成又は取得した情報であって、その主な情報及び利用目的は次のとおりです。

保 有 個 人 情 報	主 な 利 用 目 的
学生本人の氏名、住所、電話番号、生年月日、出身校、写真等	学籍簿等の作成及び学生本人との連絡
保護者等の氏名、住所、電話番号（自宅及び緊急連絡先）、入学者との続柄等	保護者等との連絡
入試成績、高等学校調査書等の入学者選抜試験情報	入学者選抜業務
学籍番号、履修登録科目、単位修得期、成績評点、単位等の学籍簿・学修情報	修学管理及び修学指導
授業料債権等の授業料等情報	授業料等債権管理
家族構成、所得金額、申請事由、免除の可否等の授業料等免除情報	授業料等免除選考
家族構成、所得金額、採用の可否、奨学生番号、貸与月額等の奨学生情報	奨学生の推薦・選考及び奨学金交付に関する奨学事務
身長、体重、視力、心電図、X線等の健康診断情報	学生の健康管理
団体結成届等、課外活動に関する大会参加申込書記載項目等の情報	課外活動支援
進路希望、卒業後進路先等の就職情報	就職指導

- (2) (1) に掲げる個人情報の利用目的のほか、次に掲げる目的のため保有個人情報を本学職員が利用することがあります。

- ① 卒業（修了）判定結果等の掲示（学籍番号）
- ② 学生名簿の作成及び配布（氏名、学籍番号、クラス分け、担任教員名等）

- ③ 授業料等免除の選考（入学者選抜試験情報，学籍簿情報，奨学生情報等）
 - ④ 奨学生の推薦（入学者選抜試験情報，学籍簿情報等）
 - ⑤ 保護者等への授業料等免除，奨学生の決定通知
 - ⑥ 保護者等への授業料・寄宿料等の督促
 - ⑦ 保護者等への成績通知
 - ⑧ 修学指導，学生生活指導等に係る保護者への諸連絡
 - ⑨ 学生の呼び出し
 - ⑩ 定期試験等の結果の掲示（学籍番号）
 - ⑪ 各種証明書の発行
 - ⑫ 授業実施，教育改革のための研究
 - ⑬ 図書館利用等のサービス提供に係る利用者管理
 - ⑭ 入学者選抜方法改善のための研究（入学者選抜試験情報，学籍簿情報等）
 - ⑮ 在学中及び卒業後の刊行物の発送（氏名，住所等）
 - ⑯ 記録写真，VTR 等の広報誌，Web ページ等への掲載
 - ⑰ その他法令に違反しない範囲で本学が処理する事務及び事業に関し必要と認めた利用目的
- (3) (1) に掲げる個人情報の利用目的のほか，蓄積された保有個人情報を統計的に処理を行い，個人が特定できない状態で，学生の修学・学習支援のために学生に提供することがあります。
- (4) (1) から (3) に掲げる利用目的に係る個人情報の取扱いの全部又は一部を外部に委託する場合があります。業務委託に当り，本学業務請負契約の規則等に則り，安全確保の措置を講じます。
- (5) 本学関連の後援会及び同窓会並びに教育実習校，介護等体験施設等から要請があった場合は，当該組織の活動に必要な範囲内において学生の個人情報を，安全確保の措置を講じた上，提供することがあります。
- (6) (1) から (5) までの他には，個人情報の利用又は第三者への提供をいたしません。ただし，次に掲げる場合には，本人の同意を得ることなしに，第三者に個人情報を提供することがあります。
- ① 法令に基づき提供を義務づけられた場合
 - ② 行政機関等の公的機関が法令の定める事務又は事業を遂行することに協力する場合
 - ③ 専ら統計又は学術研究を目的とする場合
 - ④ 本人の生命，身体，財産その他の権利利益を保護するため必要と判断した場合
 - ⑤ ②と同程度の公益性があると判断した場合
- (7) 学生，保護者等に係る個人情報の取扱いについての苦情及び相談並びに本人に関する個人情報の開示，訂正又は利用停止の請求があった場合は，学生本人が所属する学部等の担当係で対応します。
- (8) 個人情報の保有又は利用目的が生じた場合，その周知は，文書，メール，口頭説明等による本人への直接通知，掲示又は Web ページ上への掲載等内容が本人に認識される合理的かつ適切な方法により行います。

国立大学法人滋賀大学の個人情報の取扱いに関するホームページ

https://www.shiga-u.ac.jp/information/info_public-info/info_personalinfo/

8. 入学試験個人成績の開示

本学では、入学試験の個人成績を受験者本人に限って開示します。令和5年度入学試験の成績開示を希望する者は、下記のとおり申し込んでください。

なお、代理人による申し込みは受け付けません。

(1) 申込方法

次の書類等を下記申込先に郵送してください。

ア. 入試情報開示請求書 本人自筆により必要事項記入・押印したもの

入試情報開示請求書の様式は、本学ホームページからダウンロードできますが、ホームページからの入手が困難な場合は、返信用封筒（定形封筒・84円切手貼付）に送付先住所・氏名を記入し下記申込先あてに送付してください。

イ. 本学受験票（コピー不可）

受験票は入試情報開示通知書とともに返信用封筒により返却します。

ウ. 返信用封筒（長形3号） 入試情報開示通知書（開示結果）返送用404円分（簡易書留）切手を貼付し、返送先住所・氏名（本人に限る）を記入してください。

(2) 申込期間

令和5年5月8日（月）から6月2日（金）17時まで（必着）

(3) 申込先

滋賀大学入試課 （〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号）

(4) 成績の開示

「入試情報開示請求書」を受理した日から3週間以内に「入試情報開示通知書」により通知します。

9. その他

- (1) 募集要項の請求はインターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）をご利用ください。

 テレメール	https://telemail.jp/?gsn=0388550&des=038851 パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。	QRコード® ※対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。	
--	---	-------------------------------------	---

募集要項の請求を郵送で行う場合は、封筒の表に「大学院データサイエンス研究科博士前期課程学生募集要項請求」と朱書し、裏には住所・氏名・連絡先電話番号を記載するとともに、返信用封筒（角形2号：縦33cm・横24cm，郵便切手390円分を貼付し、受信者の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）を同封し、下記あてに送付してください。

- (2) この募集要項等受験に関する問い合わせは、下記へ照会してください。

〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学入試課
電話 0749 (27) 1023

出願書類等一覧（本研究科所定用紙等）

- ・ 入学検定料払込書
- ・ 入学志願票
- ・ 受験票
- ・ 写真票
- ・ 検定料納付確認票
- ・ 志願理由書
- ・ 研究計画書
- ・ 実務経験書
- ・ 派遣証明書
- ・ あて名票
- ・ 「出願書類在中」封筒

入学志願票 記入上の注意事項等

記入は、必ず黒インキ又は黒色ボールペンで自書し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。なお、※印欄は記入しないでください。

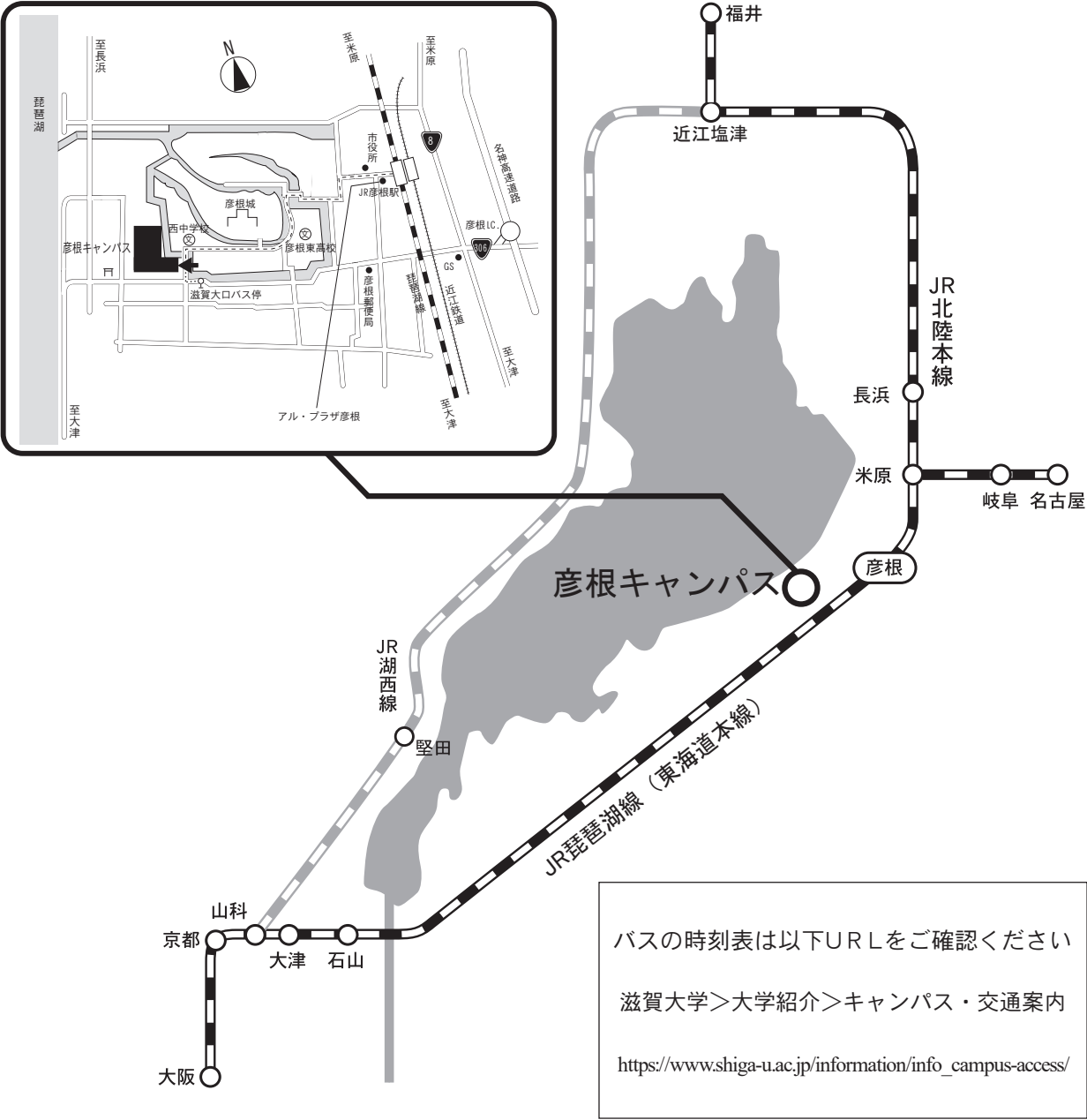
- (1) 選抜種別は希望するものを○で囲んでください。
- (2) 氏名欄は、戸籍簿（外国人の場合は在留カード又はパスポート）のとおり記入してください。性別欄は該当する文字を○で囲んでください。
- (3) 国籍、在留資格、在留期限欄は、外国人のみ記入してください。
- (4) 出願資格欄は、出身学校の学校名、学科名等及び卒業（修了）等年月を記入し、該当する語句を○で囲んでください。
- (5) 裏面の履歴欄は、高等学校以降を（外国人は小学校から）すべて記入し、職歴のある場合は所定の欄に記入してください。

また、高等学校卒業後の学歴、職歴欄については、空白期間がないようにすべて記入してください。 例 日本語学校等語学学校、研究生、科目等履修生等
なお、研究生であった方は、指導者名も記入してください。

例 ○○大学○○学部研究生 指導者名（ ）

彦根キャンパス案内図

◆滋賀大学彦根キャンパス 彦根市馬場一丁目1番1号



交通機関

「JR彦根駅」下車

*「JR彦根駅」はJR琵琶湖線（東海道本線）です。誤って湖西線に乗らないよう注意してください。

- 徒歩の場合、ＪＲ彦根駅から ----- 印の道を約２５分
- バスの場合、ＪＲ彦根駅バスターミナル
 - ⑤番のりばより、滋賀大学直行バスにて約１０分（試験当日は臨時ダイヤで運行）
 - ④番のりばより、湖国バス「ビバシティ（カインズ・パリア前・南彦根駅東口経由）」行き、「滋賀大口」下車徒歩約２分
- タクシーの場合、ＪＲ彦根駅から約５分（９４０円程度）

入 試 情 報 サ ー ビ ス

滋賀大学では、入試に関する情報をインターネットで提供しています。

出願状況・合格状況についての問い合わせには応じられませんので、次のホームページをご利用ください。

入試情報ホームページ

<https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

携帯電話サイト

<https://daigakuic.jp/shiga-u/>

QRコード

※対応するスマートフォン、
携帯電話で読み取れます。



提供する入試情報の主な内容は次のとおりです。

- 受験案内
- 募集要項の請求
- 出願状況（期間中毎日更新）
- 合格速報（合格者発表後、合格者の受験番号と学科を掲載）

なお、合格速報については、情報提供に万全を期しておりますが、合格通知書をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。